

渥美電鉄会社として、大正 11 年に創立され、当初は高師と豊島間、翌年師団口（今の愛知大学前）に延長し、大正 14 年に新豊橋、田原間が開通しました。

開通当時は、今の 259 号線の真ん中を走っており、南栄の駅は今の駅より南よりに設けられました。

昭和 7 年ころに、線路は今の所に移されました。その頃は、今の南部中南西の踏切のあたりに「兵器廠前」駅

緑地公園踏切あたりに「空池」の停留所がありました。

今も残る松林は、当時の黄塵対策・防風林として植えられたものです。

当時の渥美線は、福江まで延長の予定でしたが、田原の黒川原まで開通したものの、戦争のため中止になりました。昭和 19 年に、資材転用のため、田原、黒川原間も線路が外されました。

戦争関連の施設

地図でわかるように、学校および周辺は、戦争関連の学校、倉庫、病院、そして、練習場でした。

日露戦争で勝利し、多くの捕虜の収容が必要になり、高師緑地公園にも、俘虜収容所がありました。約 800 人が収容されました。豊橋での俘虜生活は 1 年にも満たなかったそうです。

その後、大正時代にかけて、師団（軍隊）の施設が建設され、田原街道、大崎街

道、小松原街道が整備されました。軍隊とのかかわりは、高師村（栄校区を含む）に
 繁栄をもたらせました。現在の高師口から小池方面には、軍隊向けの多くの店ができ
 ました。

南栄駅周辺の変化

明治から戦前

南栄町田原街道沿い家並図

明治から昭和20年頃まで

兵器廠前 踏切番小屋 路 松 林

田原街道(国道259号線) 昭和6年 滙美線 廃止

昭和5年 開業 麻糸工場	岡田下宿	延3年~延3年 役場	延43年 開業	延43年頃 開業	延2年 開業 寺沢屋	延9年 開業 石橋	延元年開業 鈴木酒店 居酒屋 酒類	延13年開業 衣料品販売 延19年移転 竹本安次	延10年 開業 八百屋	延2年 開業 中島 自転車 修理 販売業	延3年 開業 河合 餅屋 製造	延19年 開業 饅頭 あん巻 製造 販売業
昭和20年 廃業	竹本安次 大久保 稲田敏雄 長浜弥一	延19年~延20年 終戦迄 太陽航空機下請工場 延5年開業麻糸工場 延18年廃業	菓子 食料品 販売業	コンドー パン製造 たばこ小売 販売業	延28年 廃業	延7年 延7年 転入 勤務	延元年頃 開業 桑の周旋 小売販売業	延元年頃 開業 衣料品 長靴 雨合羽 販売業	延20年 南栄町 空襲焼 失にて 転入	延19年 廃業	延17年 廃業 転出	延14年 開業 魚屋 延13年移転 伊藤 皓一
明治43年 開業 自転車修 理販売業 延5年廃業	延元年頃 開業 原田染物 工場 延4年頃 転出	延元年頃開業人力車屋 延5年頃廃業 延41年頃開業うどん屋 延45年頃廃業	初代	道	初代	初代	初代	延10年 移転 桶 製造 販売業	初代	初代		

戦後